

取り扱い説明書

書画カメラ TC-51D



安全上のご注意

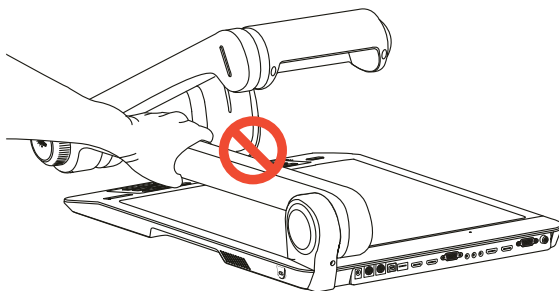


警告！

本製品の内部は高電圧です。
感電の危険があります。

以下の安全上の注意に従ってください。

1. 本体を雨や液体にさらさないでください。火事や感電の原因となります。
2. 感電を避けるためにむやみに分解しないでください。必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。
3. カメラのオートフォーカスをONにした状態で24時間以上連続使用しないでください。カメラレンズの故障の原因となります。
4. 本体に水や液体をこぼさないでください。また可燃性のものや金属をケースの内側に入れないでください。
5. 使用しないときは、本体の電源を抜いて保管してください。
6. 本体を掃除するときは、軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
7. レンズに傷をつけないように、お手入れの際にはエアブローか乾いた柔らかい布で拭いてください。
8. ライトが点滅したり、暗くなったときは新しいものに交換してください。
9. アームライトとバックライトを頻繁に切り替えしないでください。
10. 電源を入れる前にカメラレンズのキャップを取り外してください。
11. アームの間に手を入れたままアームを折りたたまないでください。手を挟むと怪我の原因となります。



目次

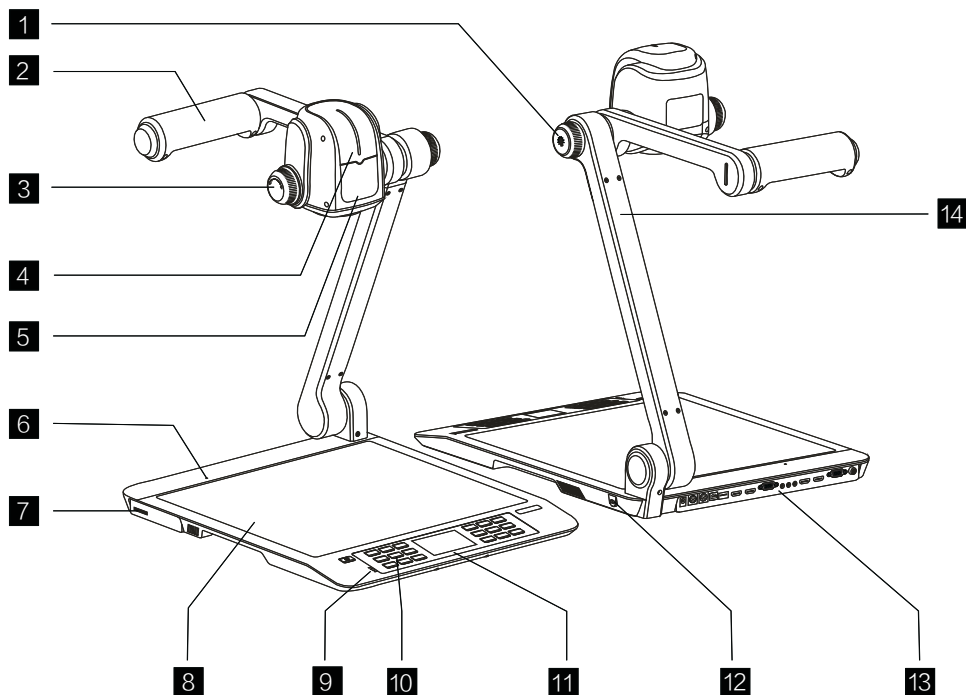
安全上のご注意	1
目次	2
各部の説明	4
コントロールパネル	5
リモートコントロール	6
基本的な準備作業	7
外部接続	8
接続イメージ図	8
電源接続	8
プロジェクターに接続	9
デスクトップパソコンを接続	9
USB接続	10
USBマウスを使ったコントロール	11
ビデオ出力	11
外部マイク接続	12
メニュー操作	13
ツールバーで書画カメラを操作	13
書画カメラの設定	13
基本操作	14
PAL/NTSCビデオ出力	14
ステージ上の対象物の投影	14
ステージ外の対象物の投影	14
ライト	15
ネガポジ反転	15
フォーカス	15
フリーズ機能	16
明るさ調整	16
ホワイトバランス調整	16

テキスト/画像モード	16
カラーおよび白黒モードスイッチ	16
HDMI / VGA / CAM入力	16
プロジェクター オン/スタンバイ	16
プロジェクター入力選択	17
画像の回転	17
画像の反転	17
赤外線リモートコントロール	17
付属ソフトウェアのインストール	17

USBポート	18
USBイメージ/ビデオキャプチャー	18
書画カメラをパソコンでコントロールする	18
書画カメラでのプロジェクターのコントロール	19
本体を収納する	23
トラブルシューティング	24
仕様	25

各部の説明

部位の説明



1 アームライト明るさ調整ボタン

2 アームライト

3 ズームイン／ズームアウト

4 カメラヘッド

5 リモコン信号受信エリア

6 内蔵マイク

7 SDカードスロット

8 ワークステージ

9 パイロットライト

10 コントロールパネル

11 プレビュー用液晶モニター

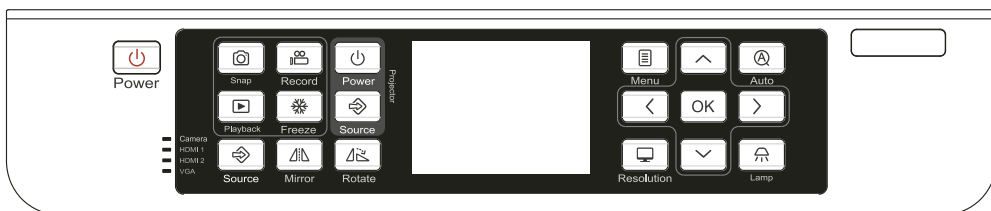
12 盗難防止スロット

13 外部機器接続用インターフェース

14 カメラスタンド

















コントロールパネル







ボタン操作説明



ボタン	機能
	書画カメラ電源スイッチ（3秒押し続けると電源オフ）
	静止画を撮影して内部メモリまたはSDカード（初期設定）に保存
	ビデオを録画してSDカードに保存（再度押すと録画を停止）
	プロジェクター電源ボタン（3秒押し続けると電源オフ）
	保存された画像、ビデオの再生
	画像のフリーズ（再度押すとフリーズを解除）
	プロジェクターの信号出力選択
	書画カメラの信号出力選択
	画像の反転（ミラー表示）（再度押すと通常に戻る）
	画像を回転（0度、90度、180度、270度）
	ツールバーの表示・非表示
	自動画像調整（明るさ・ホワイトバランス・フォーカス）
	カーソルを左へ移動
	カーソルを右へ移動
	カーソルを上へ移動
	カーソルを下へ移動
OK	選択した項目の“OK”ボタン
	画像解像度切り替え（XGA, SXGA, WXGA, 720P, 1080P）
	アームライトとバックライトのON/OFF

リモートコントロール

	電源スイッチ（3秒押し続けると電源オフ）
	自動画像調整（明るさ・ホワイトバランス・フォーカス）
	設定画面の表示
	プロジェクターの信号出力選択
	選択および“OK”ボタン
	静止画を撮影して内部メモリーまたはSDカード（初期設定）に保存
	ツールバーの表示・非表示
	ビデオを録画してSDカードに保存（再度押すと録画を停止）
	画像のフリーズ（再度押すとフリーズを解除）
	保存された画像、ビデオの再表示
	アームライトの明るさプラス
	アームライトの明るさマイナス
	アームライトとバックライトのON/OFF
	ズームイン
	ズームアウト
	画像の反転（ミラー表示）（再度押すと通常に戻る）

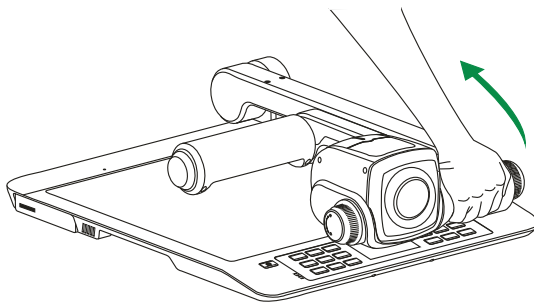
	レンズを上方向に動かす
	レンズを下方向に動かす
	画像を回転（0度、90度、180度、270度）
	プロジェクターの電源（3秒長押しすると電源オフ）
	書画カメラの信号出力選択
	画像解像度切り替え（XGA, SXGA, WXGA, 720P, 1080P）



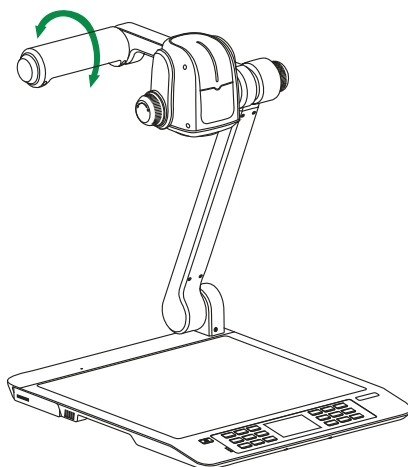
基本的な準備作業

書画カメラのセットアップ

1. 書画カメラのベースを片手でしっかりと押さえ、もう一方の手で、注意しながらゆっくりカメラスタンドを立てます。



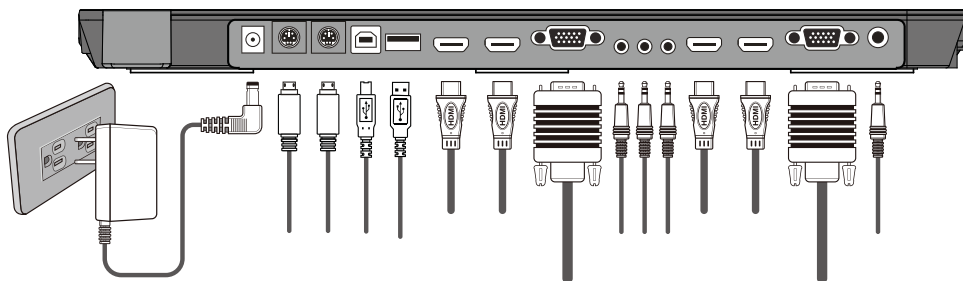
2. アームライトをセットし、カメラを投影したい対象箇所に向けます。



外部接続

接続する前に書画カメラ及び接続する機器の電源がOFFであることを確認してください。


● 接続イメージ図



● 電源接続

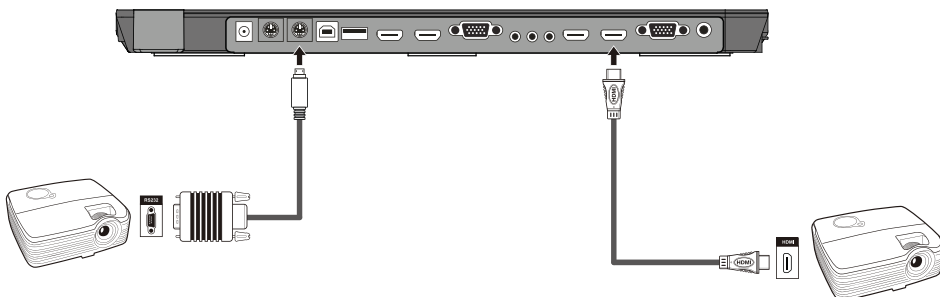
最初にACアダプターを12V入力に接続します。



 ACアダプターの形状は国や地域により異なります。

● プロジェクターに接続

HDMI OUT 2ポートからプロジェクターのHDMI入力ポートにHDMIケーブルで接続します。
プロジェクターと書画カメラを6ピン-9ピンのRS232Cケーブルで接続すると、書画カメラでプロジェクターをコントロールすることも可能です。



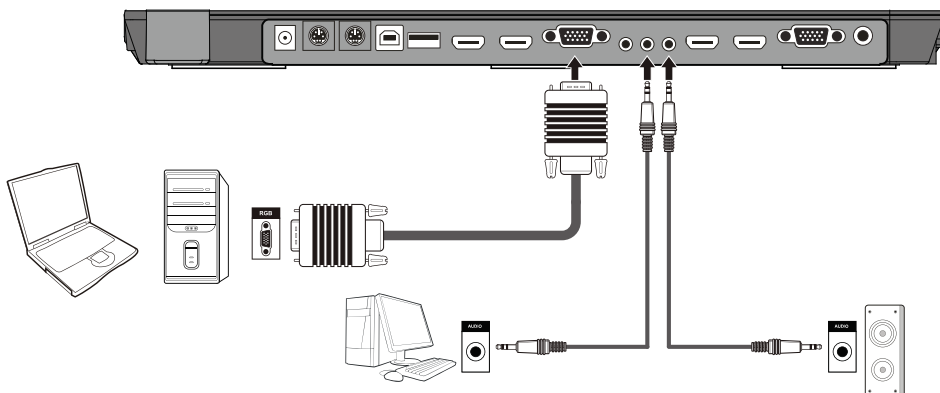
注意: 1.RGBケーブルを使ってVGA出力ポートからプロジェクターのVGA入力ポートに接続することもできます。

2.HDMI OUT 1はHDMI IN 1ポートからの信号の出力に使用します。

● デスクトップパソコンを接続

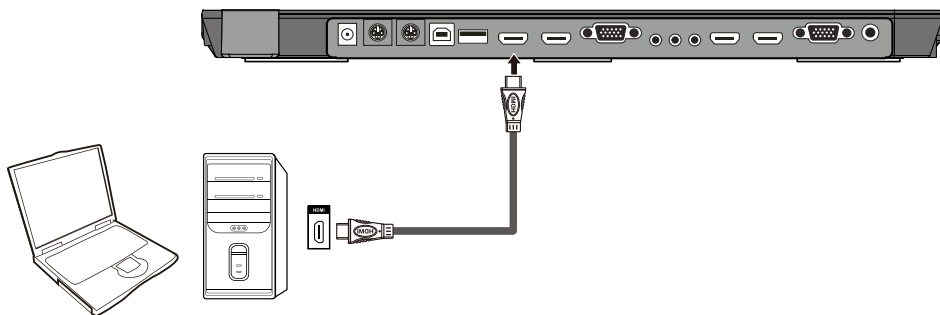
モード1：VGAケーブルとオーディオケーブルを接続

1. VGAケーブルを使って、書画カメラのVGA入力ポートとパソコンのVGA出力ポートを接続します。
2. オーディオケーブルを使って、書画カメラのオーディオ入力とパソコンのオーディオ出力を接続します。
3. オーディオケーブルを使って、書画カメラのオーディオ出力と外部アンプを接続します。



モード2：HDMIケーブルで接続

HDMIケーブルで書画カメラのHDMI IN 1またはHDMI IN 2ポート とパソコンのHDMI出力ポートを接続します。



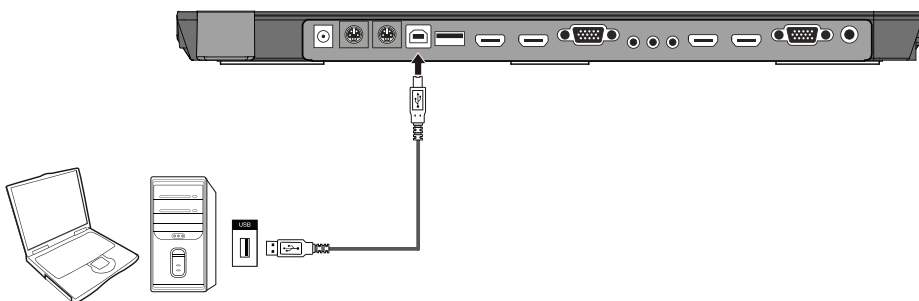
注意：HDMI OUT 1は常時、HDMI IN 1からの信号をパススルー出力します。

● USB接続

USBでパソコンと接続すると、書画カメラの静止画やビデオをパソコンでキャプチャーすることができます。この操作には専用の付属ソフトが必要となります。

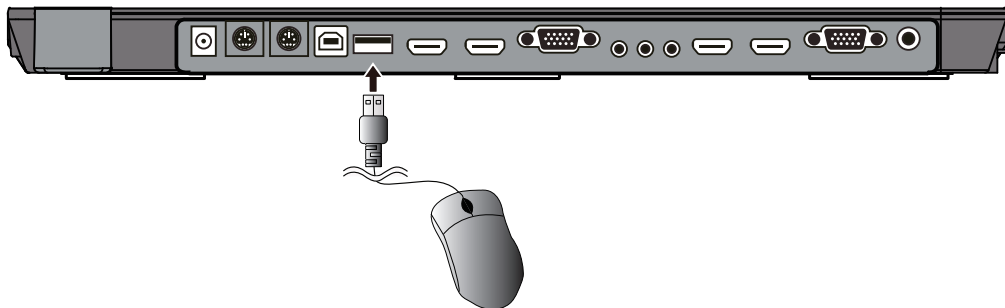
メニューボタン (≡) を押し → 設定アイコン "⚙️" を選択 → 「システム設定」を選択します。

「UMS」が選択されている場合、USBマストレージとして認識されます。「UVC」を選択すると、パソコンの外部カメラ（WEBカメラ）として動作します。





● USBマウスを使ったコントロール

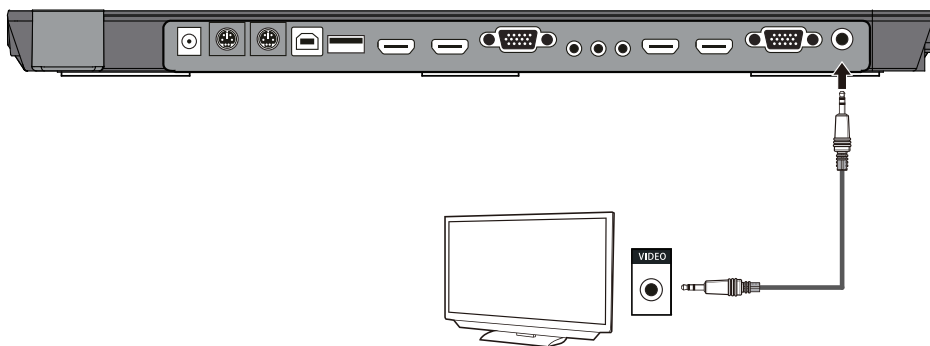
市販のUSBマウスを使ってツールバー上の機能のコントロールを行うことができます。USBマウスをマウスポートに接続します。



- 注意：1. Bluetoothマウスには対応していません。
2. USB ドングルとセットになったHIDに準拠したワイヤレスマウスでもご使用可能です。
3. ゲーミングマウスなど特殊なマウスではご使用いただけない場合がございます。

● ビデオ出力

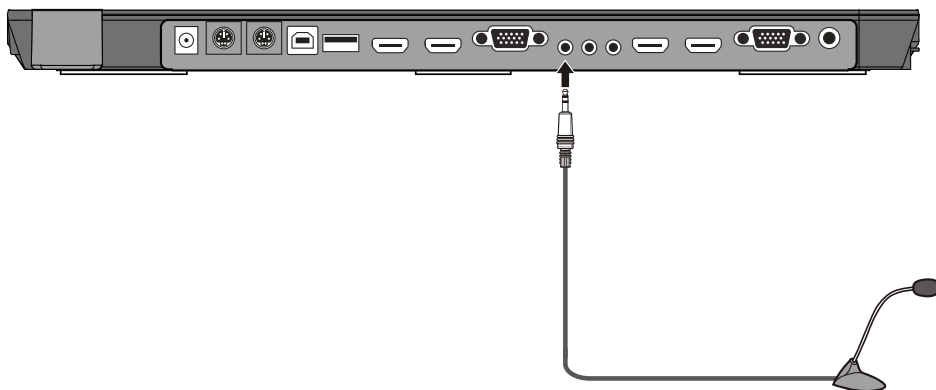
1. コンポジットビデオケーブル（黄色）を書画カメラのビデオ出力とテレビのビデオ入力にそれぞれ接続します。
2. メニューボタン（) を押し →  アイコンを選択 → 「システム設定」を選択。
「PAL」または「NTSC」を選択します（日本のテレビは「NTSC」規格です）。



注意：書画カメラの出力で「PAL」または「NTSC」が選択されると、ビデオ出力ポートからのみの出力となります。

● 外部マイク接続






3.5mmのモノラルマイクを書画カメラのマイク入力に接続します。









注意：外部マイクを接続すると内蔵マイクはオフになります。





















メニュー操作説明

● ツールバーで書画カメラを操作

1. リモコンまたはコントロールパネルの（）ボタンでツールバーを表示します。
2. 左右の矢印ボタンで（または）で選択します。
3. OKボタン（**OK**）で実行します。
4. 戻るボタン（）で直前のメニューに戻ります。
5. ホームアイコン（）で、メインツールバーに戻ります。

● 書画カメラの設定

1. ツールバーの設定アイコン（）を選択します。
2. OKボタン（**OK**）を押して、設定画面に表示します。
3. 上下の矢印ボタン（または）で項目の選択をします。
4. 左右の矢印ボタン（または）で設定変更をします。
5. OKボタン（**OK**）で新しい設定を保存します。
6. 設定アイコン（）を再度押して、設定を終了します。

機能	アイコン	機能	アイコン	機能	アイコン
ズームイン		マスク		スプリット	
ズームアウト		反転		再生	
拡大鏡		回転		手書き機能	
撮影		テキスト		自動調整	
録画		ネガポジ反転		PIP	
フリーズ		白黒		設定	
タイトル		ホワイトボード			



ツールバーの機能の一部を使用するためにはUSBマウスが必要となります。画面の指示に従って操作をおこなってください。

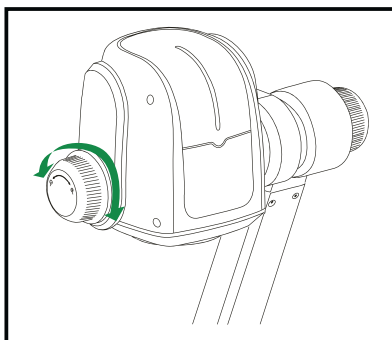
基本操作

● PAL/NTSCビデオ出力

設定で、PALまたはNTSCモードを設定します（日本はNTSC規格です）。

● ステージ上の対象物の投影

1. ステージに投影したい素材を乗せます。
2. 必要に応じてズームノブでズームの調整をします。

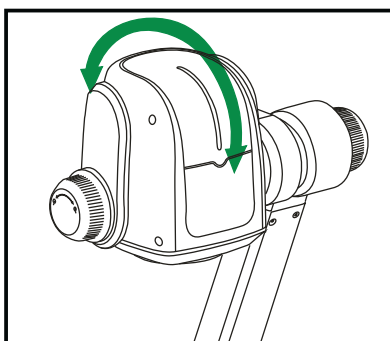


3. 「自動」 ボタンでオートフォーカスします

● ステージ外の対象物の投影

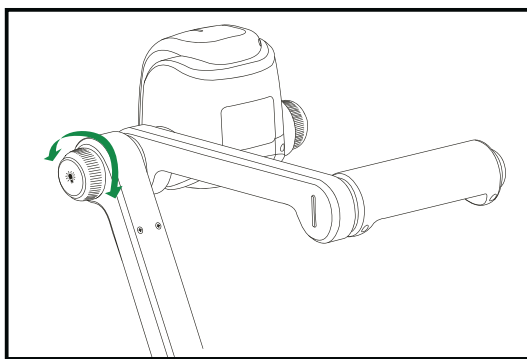
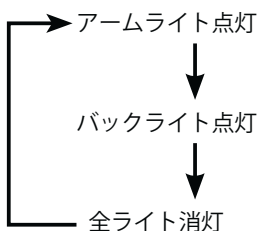
素材が大き過ぎてステージに乗らないときや素材を一定の角度から見せたい場合などは、書画カメラの前後に素材を置き、手でカメラヘッドを回転します（回転する前にズームインを解除してください）。

垂直方向に330度まで回転が可能です。



● ライト

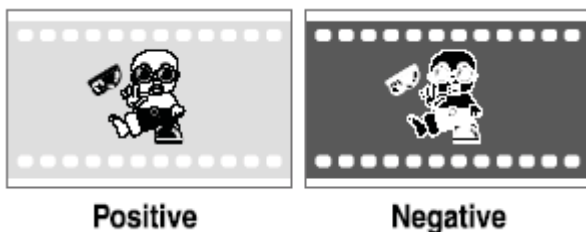
「ライト」ボタンを押すたびに照明は次のように変わります。



アームライトの明るさ調整
ノブで調整

● ネガポジ反転


書画カメラは、電源が入ると自動的に通常の対象物を表示するように設定されています。ネガティブ表示をするときには、「ライト」ボタンを押してバックライトを点灯させ、「ネガティブ」アイコンを押します。フィルムなどのネガティブの素材をネガ・ポジ反転表示することができます。再度「ネガティブ」ボタンを押すと通常のポジティブ表示に戻ります。



● フォーカス

書画カメラは、電源が入ると自動的にステージの上のものにフォーカスします。立体物などフォーカス調整が必要な場合、「自動調整」ボタン、または「オートフォーカス」アイコンを押してください。

● フリーズ機能

カメラ画像が出力されているときに、画面をフリーズしたいときには「」ボタンを押します。画面をフリーズしているときにはズームやカラー調整などの操作をおこなうことはできません。

● 明るさ調整

画像効果が十分でないときは、よいイメージを取得するために明るさを調整できます。「設定」で調整します。


● ホワイトバランス調整

照明の状態が変わったときなどには、カメラのホワイトバランスの調整が必要な場合があります。「自動」ボタンを押すと、ホワイトバランスとフォーカスが自動で調整されます。


● 自動画像調整

書画カメラの特別な機能として自動画像調整があります。「自動調整」ボタンを押すと、ホワイトバランスとフォーカスを自動で調整します。


● テキスト／画像モード

 アイコンを押すたびにテキスト／画像モードが切り替わります。
テキストファイルを表示するときにテキストモードにすることで文字を鮮明に表示できます。

● カラーおよび白黒モードスイッチ

""アイコンを一度押すと白黒モードに、もう一度押すとカラーモードに戻ります。


● HDMI/VGA/CAM 入力

""ボタンを押すたびに、HDMI、VGA、書画カメラの信号へ順に切り替わります。
注意：HDMI OUT 1は常時、HDMI IN 1ポートからの信号を出力します。

● プロジェクター オン／スタンバイ

「電源」ボタンを押して書画カメラの電源を投入後に「プロジェクター電源」ボタンを押すとプロジェクターの電源が入ります。プロジェクターをスタンバイモードにするには、3秒以上ボタンを押し続けます。


● プロジェクター入力選択

複数の入力ポートにプロジェクターが接続されている場合、プロジェクター入力（）ボタンを押すと、順番にそれぞれの入力信号に切り替わります。

● 画像の回転

（）ボタンを押すと画像が時計方向に回転します。続けて押すと元の位置に戻ります。

● 画像の反転

垂直反転、水平反転のイメージを表示するには（）ボタンを押します。再度押すと元に戻ります。

● 赤外線リモートコントロール

書画カメラのリモコンは様々角度からでも操作可能です。リモコンは一定距離内でのみ使用可能です。書画カメラとリモコンの間に障害物があったり、リモコンの電池が消耗しているときなどは正常に動作しないことがあります。

● 付属ソフトウェアのインストール

USBインターフェース経由で、表示画像をキャプチャーしたり、静止画やダイナミックなイメージを保存したり、Windows Media Playerなどで再生したりすることができます。

- A. 書画カメラの添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。オートランが有効な場合は、自動的にソフトウェアのセットアップが起動します。起動しないときは、「コンピューター」上のCD-ROMをセットしたドライブ（環境により表示名が異なります）をダブルクリックします。
- B. クリックしてMP4やJPEGフォーマットでキャプチャーするプログラムをインストールします。
- C. Visualizer Code-Writingをインストールします。
- D. インストールされたプログラムを有効にするためにパソコンを終了します。
- E. USB2.0ケーブルでパソコンと書画カメラを接続し、パソコンを起動します。

USBポート

USBポートは、書画カメラで撮影した静止画像や動画をパソコンに保存するのに使用できます。付属のUSBケーブルで書画カメラとパソコンを接続します。必要なソフトは付属CD-ROMに含まれています。

※以下の点にご注意ください。

1. 動作環境：1.8GHz Intel (R) CoreDuoプロセッサ以上、2GBメモリー以上、1GBのメモリー以上を搭載したビデオカード、USD 2.0、40GB以上のHDDの空き容量
2. OS：Windows7/Windows 8
3. 付属のハイスピードUSB2.0ケーブル
4. 書画カメラとパソコンをUSBケーブルで接続するときはパソコン背面のUSBポートに接続することを推奨します。パソコン前面のUSBポートは干渉することがあります。

● USBイメージ／ビデオキャプチャー

書画カメラのイメージやビデオをUSBケーブルで接続したパソコンでキャプチャーできます。また、イメージ保存、ビデオ録画機能で保存することも可能です。詳しくはCD-ROMに収録のマニュアルをご覧ください。

注意：アプリケーションが動作しているときに、USBケーブルの抜き差しをしないでください、プログラムの動作が中断されます。

● 書画カメラをパソコンでコントロールする

書画カメラをUSBで接続したパソコンからコントロールすることができます。


- A. 書画カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。
- B. X:¥232 Control¥Contorl Panelを確認してください（CD-ROMからダブルクリックするか、このファイルをパソコンのどこかにコピーして、ダブルクリックで起動します）。

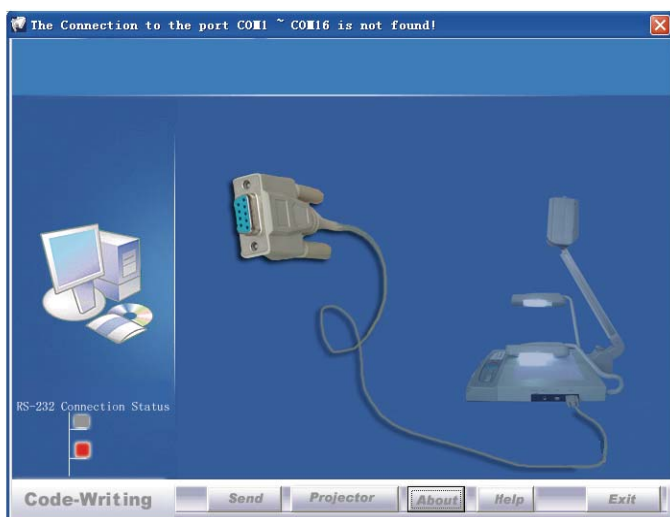
注意：RS232ポートで書画カメラとパソコンを接続しても操作可能です。

書画カメラでのプロジェクターのコントロール

コード記述ソフトウェアをプロジェクターのコントロールコードを入力するために使用し、これにより様々なプロジェクターを書画カメラで制御できます。

1. RGBまたはHDMIケーブルで、書画カメラとプロジェクターを接続します。
2. RS232ケーブルでパソコンと書画カメラとを接続します。
3. 接続後に、書画カメラの電源を入れます。パソコン上の書画カメラソフト

 **Visualiser Code-Writing** を起動すると、以下の画面が表示されます。



現在のRS232接続状態を示すインジケーターが緑色であれば、書画カメラとパソコンが正常に接続されています。インジケーターが赤色のときはRS232ケーブルの接続状態を再度確認してください。またドロップダウンリストの中にお使いのプロジェクトがあれば選択して「Send」（送信）ボタンを押してください。

注意：ステップ2で、書画カメラとパソコンをA-BタイプのUSBケーブルで接続することも可能です。

もし、ドロップリストにプロジェクターのモデル名がないときは、以下の手順をご参照ください。

- ① 「Baud Rate」と「Parity」を選択し、プロジェクターのコントロールコードを入力します（ボーレート、パリティ、コントロールコードは、プロジェクターのメーカーから提供されています。プロジェクターの取扱説明書をご参照ください）。

The image shows a 'PROJECTOR SETUP' dialog box. It has a title bar with a close button. Inside, there's a 'Name' dropdown menu showing 'EPSON EPS-820\811'. Below it are five input fields for 'PowerOn', 'PowerOff', 'Input1', 'Input2', 'Input3', 'Input4', and 'Input5'. Each field has a small 'P' icon and a text box. The text boxes contain: 'PWR ON', '0d, 0a', 'PWR OFF', '0d, 0a', 'SOURCE 11', '0d, 0a', 'SOURCE 21', '0d, 0a', 'SOURCE 41', '0d, 0a', 'SOURCE 42', '0d, 0a'. At the bottom, there are two dropdown menus: 'BAUD RATE' set to '9600' and 'PARITY' set to 'No Pari'. To the right of these are four buttons: 'ADD', 'DELETE', 'SELECT', and 'TEST'.

② プロジェクターのコントロールコードについて

a: データ数値形式であれば、直接入力ください。ブロック単位にカンマで区切ります。大文字と小文字を混ぜないでください。

例：日立製プロジェクターのマニュアルに記載されている「POWER ON」のコードは以下になります。

BE・EF・03・06・00	BA・02	01・00	00・60	01・00
----------------	-------	-------	-------	-------

「POWER ON」入力欄に「be,ef,03,06,00,ba,d2,01,00,00,60,01,100」と入力する場合、他の機能の入力も同様の方法でおこなってください。

b: データが文字列の場合は、文字列で入力します。

例：シャープ製プロジェクター C40/50のマニュアルに記載されている「POWER ON」のコードは以下の通りとなります。

P	O	W	E	-	-	-	1	↵
---	---	---	---	---	---	---	---	---

（“-” はスペース、↵ は、エンターキーを意味します）

「POWER ON」入力欄に「POWR 1',0d,0a」と入力します。

注意：POWER,0d,0a入力後に3回スペースが入ります。

他の機能の入力も同様の方法でおこなってください。

c. 文字列と数値の組み合わせのときは、前記の両方の方法で対応ください。

- ③ 完了したら、「Add」でプロジェクター名を追加し、「Send」ボタンを押し、「OK」をクリックします。これで書画カメラからプロジェクターをコントロールできるようになります。

4. RS232ケーブルで、書画カメラとプロジェクターとをつなぎます（先にパソコンからRS232ケーブルを外します）。これで書画カメラのコントロールパネルからプロジェクターを操作できます。

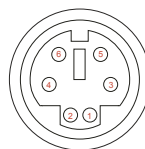
書画カメラには6ピン-9ピンのケーブルが付属しています。もし、お使いのプロジェクターのRS232ポートに合わない場合、別途市販のケーブルが必要となります。必ずプロジェクターのピン配列をご確認の上ご購入ください。書画カメラのピン配列は以下の通りとなります。ピン1-RXD（データ受信）、ピン5-RXD（データ送信）、ピン4-GND（グラウンド）、その他のピンは定義されていません。プロジェクターのピン配列はマニュアルを参照ください。通常プロジェクターの側にもRXDピン,TXDピン,GNDピンがあります。

（名称は異なる場合がございます。）それぞれを以下のように接続します。

書画カメラ RXDピン ---- プロジェクター TXDピン

書画カメラ TXDピン ---- プロジェクター RXDピン

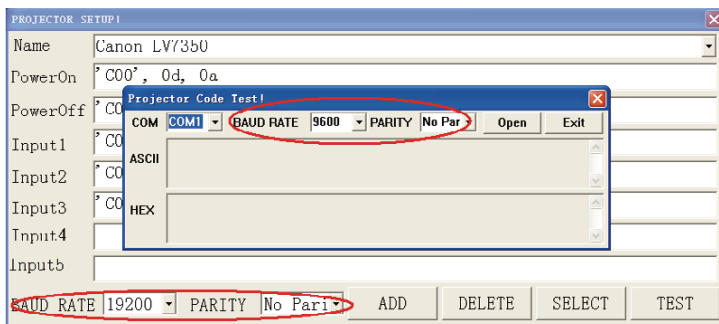
書画カメラ GNDピン ----- プロジェクター GNDピン



5. 操作パネルでプロジェクターがコントロールできないときは、コード記述ソフトのテスト機能を使って、コントロールコードが正しいかをチェックしてください。「Projector」ボタンをクリックすると下の図のダイアログが表示されます。

PROJECTOR SETUP	
Name	EPSON EFS-820\811
PowerOn	POWR ON', 0d, 0a
PowerOff	POWR OFF', 0d, 0a
Input1	SOURCE 11', 0d, 0a
Input2	SOURCE 21', 0d, 0a
Input3	SOURCE 41', 0d, 0a
Input4	SOURCE 42', 0d, 0a
Input5	
BAUD RATE	9600
PARITY	No Pari
[ADD] [DELETE] [SELECT] [TEST]	

プロジェクターからRS232ケーブルを外してパソコンに接続します。プロジェクターのボーレートを参考に「Baud Rate」と「Parity」を選択したら「Test」ボタンをクリックします。テストダイアログが表示されるので、ボーレートとパリティの値を入力して、[Open]をクリックします。

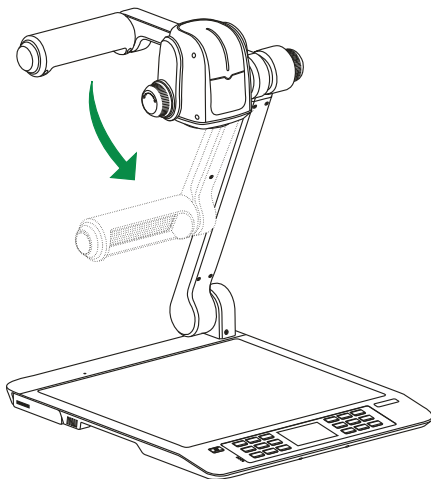


書画カメラの操作パネル上のプロジェクターコントロールボタンを押して、ソフトウェアが同じコントロールコードを受信しているかをチェックします。受信しているコードと送信しているコードが同じ場合、入力されているコードは正しいです。コードが正しいのに書画カメラからプロジェクターをコントロールできない場合、以下の手順をおこなってください。

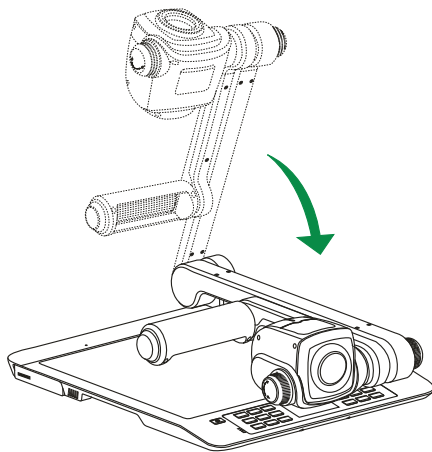
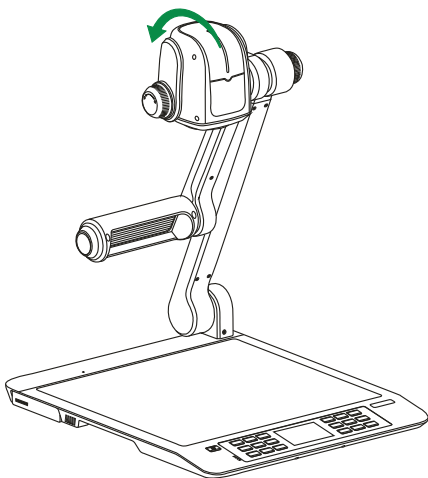
1. プロジェクターのソースコントロールコードが正しいかどうかを確認する
2. 書画カメラとプロジェクターとの接続に問題ないことを確認する

本体を収納する

カメラスタンドと平行になるまでアームライトを下げます。



カメラスタンドと平行になるまでカメラヘッドを回転させ、操作パネルまでカメラスタンドを下げます。



警告：本体を逆さに保管しないでください。
縦置きや横置きにして保管しないでください。
カメラスタンドを持って本体を持ち上げないでください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、まずは下記をご確認ください。

症状	可能性のある原因	解決方法
通常状態で電源が入らない	ACアダプターが正しく本体またはコンセントに挿さっていますか？	ACアダプターが正しく本体やコンセントに挿さっていることを確認してください。
イメージのキャプチャーやビデオの録画ができない	SDカードが書き込み禁止になっていませんか？	SCカードのプロテクトを解除してください。
接続した後で、画像が出力されない	外部機器に正しく接続されていますか？	外部機器に再接続してみてください。
	外部機器が正しく選択されていますか？	外部機器を正しく選択してください。
	外部機器の画像解像度が適切ですか？	外部機器の解像度を設定し直してください。
	正しい入力信号に切り替わっていますか？	正しい入力信号に切り替えてください。
	出力する映像がコンピューターからの入力信号（VGA）が選択されていませんか？	入力信号を、書画カメラの画像（CAM）に切り替えてください。
	出力する映像がHDMIに選択されていませんか？	入力信号を、書画カメラの画像（CAM）に切り替えてください。
画像を動かすことができない	フリーズ機能が有効になっていませんか？	フリーズ機能使用時には画像を動かすことはできません。フリーズボタンを再度押して、この機能を解除してください。
リモコンが反応しない	電池残量は十分ですか？	新しい電池に交換してください。
	リモコンと書画カメラの間に障害物がありますか？	リモコンと書画カメラの間に障害物がある場合、リモコン操作が上手くできない場合があります。通信をブロックしている障害物を取り除いて操作を行ってください。
	リモコンと書画カメラが離れ過ぎていませんか？	書画カメラとの距離を縮めて操作してみてください。
HDMI IN 1に接続した機器からの出力時に音声が出ない	1.書画カメラが、マルチオーディオ機材に接続されていませんか？ 2.接続しているパソコンのOSがWindows7以前のものですか？	1.パソコンのグラフィックカードをオーディオ出力機器にしてください。 2.再生ファイルを次に切り替えてください。

仕様

解像度	SXGA / XGA / WXGA / 720P / 1080P
レンズ	12倍光学ズーム/10倍デジタルズーム
カメラヘッドチルト機能	あり
カメラ回転角度	垂直方向 330°
フォーカス	自動/手動
ホワイトバランス	あり
ネガポジ機能	あり
白黒、カラー選択	あり
画像分割	あり
画像フリーズ機能	あり
画像回転	0° / 90° / 180° / 270°
保存と再生	RAM:約32枚の静止画の保存が可能
	SD Card: 32GBまで対応
	3 x 4"プレビュー用液晶搭載
画像反転	あり
タイトル	あり
PIP	あり
マスク	あり
拡大鏡	あり
手書き機能	あり
ホワイトボード	あり
LEDライト	アーム部: 1.5W LED ライト
	ステージ部: 2.5W LED ライト
入力端子	HDMI (1.3準拠) (2)
	VGA (D-sub 15ピン) (1)
	音声入力端子 (3.5mmミニジャック) (1)
	マイク端子(3.5mmミニジャック) (1)
	マイク (内蔵) (1)

出力端子	HDMI (1.3準拠) (2)
	VGA (D-sub 15ピン) (1)
	コンポジットビデオ端子 (RCA) (1)
	音声出力端子 (3.5mmミニジャック) (1)
対応OS	Windows 7 / 8
動作環境	CPU: 2.4GHz以上 メモリー: 1 GB以上
フレームレート	60 fps
USB ポート	USB 2.0 タイプB
マウスポート	USB 2.0 タイプA
RS232コネクター	6ピン PS/2 (2)
最大撮影範囲	A3
電源	12W
消費電力	最大12W
外形寸法 (W x D x H)	折りたたみ時: 510 x 380 x 140mm
	使用時: 490 x 380 x 530mm
質量	約5.3Kg
付属品	電源コード ACアダプター RGBケーブル A-B USBケーブル HDMIケーブル ソフトウェアCD-ROM 赤外線リモコン オーディオ/ビデオケーブル 6ピン-9ピンRS232ケーブル オーディオ変換ケーブル 取扱説明書

* 製品の形状や仕様は予告なく変更される場合があります。

20302V14D002010